

(長堀優先生)

先生方のパネルディスカッションにて貴重な話をさせていただきました。抗がん剤をフルドースでなく、半量で用いると副作用が抑えられて、漢方を加えると効果が増すと云うお話でした。プラセボ効果もあるようです。

特別シンポジウムでは、診察で悩んだ時こそ、古典に答えがあり、副作用を抑えるヒントがあるとのこと。未来に活用できるとのお話でした。(高山真、木村容子、加島雅之先生他)

副作用のお話では、芍薬甘草湯の服用時こむらがえりを治すことが出来るが、七割がまた繰り返すそうです。スタチンやエパデールや、アムロジジンなどの降圧薬を併用している患者様にその傾向が多いそうです。(伊藤隆先生)

精神疾患治療において、牡蠣末をエキス剤と合わせることにより、廃薬や減薬出来たとのお話もありました。(盛克己先生、宮崎瑞明先生他)

またシンポジウム9「妊娠と漢方」では、妊婦調血湯が、産後を閉じる薬であり、産後から生じて、不安障害を訴えられるときは、長い方は十年二十年後でも有用との話は、患者様に勧める為に大変参考になりました。

まだ多くの症例を聞きたかったのですが、所用があり、後ろ髪を引かれながら名古屋をあとにしました。

(薬剤師：〒251-0045 神奈川県藤沢市辻堂東海岸3-4-20)

漢方関係学会・研究会予定 (8月)

●日中医薬研究会関西支部8月月例研究会

日時 8月5日(土) 午後1時～6日(日) 午後6時

会場 日中医薬研究会(京都市下京区東洞院通七条塩小路町524)

内容 平成薬証論解説・大黃及び生薬の鑑別、繁用処方解説・釣藤散について、食養薬膳・夏の薬膳、皇漢医学・少陽病篇、ビデオ研修・抜粋方輿輓・釣藤散(田中英樹ほか)

事務局 田中余以徳育薬局・三重県名張市榑町1401-1 ☎0595・53・0238

●第22回夏期セミナー(主催：富山大学和漢医学総合研究所)

日時 8月9日(水) 12時50分～10日(木) 18時

会場 富山大学杉谷キャンパス民族薬物資料館(富山市杉谷) 他

内容 「和漢薬」その秘めた可能性を解き明かす

[初日]

・ 駆瘀血剤の基礎と臨床

・ 和漢薬の調剤と服薬指導

・ 和漢薬の品質とサステイナビリティ

・ 漢方・生薬の有効成分

・ 心と記憶と和漢薬

■研究室紹介 ■懇親会

[2日目]

・ 和漢薬創薬を目指した基礎研究と臨床研究

・ がん・炎症・免疫と和漢薬

・ 消化管疾患と漢方薬

柴原 直利

加藤 敦

小松かつ子

森田 洋行

松本 欣三

東田 千尋

早川 芳弘

門脇 真

